**アンケートピックアップ**

**5月15日　一般社団法人コード・フォー・ジャパン　代表理事　関　治之　氏**

**問１ 学んだこと、印象に残った言葉、講師へのメッセージ**

自分の子供のころの楽しかった体験が、そのまま今のキャリアに続いている、というのがとてもすてきだと思いました。趣味や好奇心でプログラミングを始めるという関さんのポテンシャルがまずすごいと思いますが、その経験がその後の積算のキャリアを支え続けたと思うと、とてもすごいなと思います。音楽活動に夢中になって大学中退したというのは驚きましたが、結果的にそれがいろんな分野での最先端を常に意識できる状況を生み出したんだなと感じました。まだみんなが手を付けていない分野というのは非常にリスキーですが、その最前線に立つことができればハイリターンになるというお話がとても興味深かったです。向上心と挑戦心を持ちたいと思いました。（経営学部　1年）

 “ルールは変えられる”というのはすごく重要なことだと思いました。制約があってできないというのは思い込みである場合がほとんどで、自らその制約を外す努力をすべきだと気づきました。

「シビックテック」というワードは今後更に重要なものになっていくだろうと思いました。変化が激しい現代において、技術は高度化と偏在がより進んでいくように見えます。そのような状況では、各々が自分の能力を共有するということが、世の中をうまく回すために必要不可欠かつ効率的だなと思いました。

“大変なことは競争が少ない”、”二人目のフォロワーが重要”というのはとても教訓的だと感じました。二人目のフォロワーになるのはとても勇気がいることで、そんな勇気を出そうと思えるほどのインセンティブが必要だと思います。第一人者がいかに本気で取り組んで周囲をひきつけるかということが大切になると思いました。(経済学部 1年)

私は情報系の高校出身だったので、オープンソースについては知っていました。ですが、その知識やコードの集積を公開するプロセスを現実の世界に適用するという考えを持ったことがありませんでした。漠然とプログラムを作ったり、システムの保守をやっていくのかなと考えていました。世の中の課題解決に役立てて行く生き方に興味を持ちました。私はいろいろ自由に動いてやっていきたいタイプの人間なので最初に踊れる人園になりたいと思います。（経営学部１年）

今回の講義で最も印象に残ったのは、リーダーシップについてのTEDトークの中の言葉です。最初はみんなに笑われバカとして扱われていた一人が勇気のあるフォロワーのおかげで一気に集団のリーダーになった姿をみて、真のリーダーシップを感じることができました。ふつうは、「バカ」の先駆者であるリーダーが一番評価されがちでそのほかの人に目が届かないものですが、「バカ」に乗っかって一緒に「バカ」となる選択をしたフォロワーを高く評価しているのが大変新鮮でとても面白かったです。リーダーシップとは何かを改めて考えることができたいい機会でした。(経営学部　１年)

重要事項の箇条書き、ビデオなど話の進め方が上手で非常に参考にしたい。型を作って運動を自らの手を加えずとも、広がるようにするという話は、先週の講師のお話でも印象深かったので、今日で理解が深まったし一人目の行動を始めるひとがいかにフォーマットを示すかがフォロワーを生み出すために非常に重要だと感じた。自分の脳力が低いと感じて、オープンソースの考え方や型化、大変なことをあえてやるなどの手法は、多くの人の助けを得て、事業を進められると思い、感心しました。また一方で関さんが技術者であり、インターネットを利用して事業を行っていたので、パソコンに疎い私には、チャンスが圧倒的に少なくなるのではないかと思い、今まで以上に一層不安になった。インターネットをうまく利用していくことがビジネスでは必需品になっているなと感じた。(都市科学部　1年)

“ルールは変えられる”、“型化”この２点に非常に共感を覚えました。常識と呼ばれる型の中で考えている限りは、その体制に対する疑問や改善の着想は沸していないはずであり、それは思考の停止であると思います。こうしたらいいのではないかという発想に対する否定的意見の出所はそうした常識であり、その意味でオープンリソース化されたネットコミュニティは常識を打破し、より自由度の高い新世紀の社会構造を作れる力を持っていると思いました。（理工学部　数物・電子情報系学科　３年）

英語だけが重要なのではなく、コンテンツがなければ話にならないという言葉はとても心に残りました。

自分の、物事に対する固定観念を振り払うために、様々な方面にアンテナを張って情報を集め、特に海外の考え方を積極的に取り入れていくことが必要だと思いました。（経済学部　１年）

1番印象に残った言葉はワークライフバランスではなく、ワークライフポートフォリオです。以前の講演でも仕事＝私事という言葉がありました。今の社会を生き抜いていくにはまず自分のやりたいことに出会わなければならないなと思いました。（経営　1年）

「ビジネスはタイミング、流れが来た時に波の先頭に入れるかどうかで結果が決まる。」という言葉を聞いて、この授業で講演してくださる講師の方々は、ほとんど全員タイミングが重要という話をしていて、本当に重要なのだと思いました。「ムーブメントに名前を付ける。そうしたら君が第一人者である」という言葉を聞いて、自分から新しいこと始めるのはもちろん、それを特別なことだとして自分から発信していくことが大事だとわかりました。（経営　1年）

**問２ 今後のアクションにつなげていきたいこと**

８個あった教訓のうち、特に、「ワクワクできないことをはじめよう」という部分を大切に生きていきたいです。(経営学部　１年)

関さんは3.11の後、自分の技術でできることは何か？を考えたとおっしゃっていましたが、私も何か自分に誇れる知識や技術が欲しいと思いました。そして経営学部で、この大学で学べることは何かをもう少しきちんと考え、この四年間で何かを得ていきたいと思いました。「自分の周りに会社を置く」という言葉にとても心を打たれました。大学という環境に甘んじず、縛られず、大学はあくまでも自分の周りの一つのものと考え、それ以外に自ら様々なことをやってみたいと思いました。（経営学部　１年）

なんでも言語化してみます。関さんの強みは言語化だと思いました。ふとモヤモヤしたしたことをきちんと言語化してみたらおもしろそうだと思いました。（経営学部　経営学科　1年）

リーダーは一人目のフォロワーができて初めて生まれるという当たり前であるが考えたこともなかったことを知れたため、何かムーブメントを起こすときはどのようにしてフォロワーを作るか、ということを意識していきたいと思う。(経営学部　経営学科　1年)

**授業スタッフの感想**

多くの感想にあったように、私も「ムーブメント＝型化」という概念に少し驚きました。「真似されたくないじゃーん」という風にです。しかしこれは、ファクトリエさんやタスカジさんのように、ベンチャーだからこそ、その文化を広めることで市場を広げ、一方で他のどこにもない唯一性を持つことで競争優位に立てるという事なので、「なるほどな」と納得しました。　また、最近組織マネジメントが好きな人から聞いてなおさら納得したのですが、フォロワーはさらなるフォロワーを呼ぶので本当に大事な存在ですね。内部組織においても、リーダーが空気（環境）を作るのは当たり前であり、組織を上手くまわすには、いかにフォロワーが自ら空気（環境）を作っていくようにできるかが大事なので、やはりフォロワーの存在は尊重されるべきだと学びました。

今日の講義は関氏の体験談→教訓のサイクルで構成されており、かつスライドが見やすかったので、非常にわかりやすかった。同時に本講義を通して思ったのは、これから必要とされるのは、自分の思考を言語化、図式化し整理して、分かりやすく相手に伝えるスキルだと思った。そのためにこれからの講義においては登壇者の仕草や話すスピード、視線の向きにも注意して、使えるスキルは自分のものにしていきたいと思った。講義で印象に残っているのはたくさんあるが中でもプログラミングについてのお話は興味深かった。というのも私は「大学生になってからやってみたいことリスト」の一つにプログラミングを勉強する、というのを入れていたからである。関氏のアドバイス通りにまずはプログラミングを利用して作りたいもの、を考えたいと思う。次回の講義はこれまでのものとはテイストが変わって、インターンシップについてである。私は社会勉強のためにも必ずインターンシップに挑戦したいと考えているのでしっかりとお話を聴きたいと思う。

今回は交換留学説明会に参加しており授業を受けることが出来ませんでした。感想を読み思ったことは、ビジネスを行う上で戦略は勿論必要だけれども、それ以上に‘’とりあえず挑戦してみる‘’、''流れを掴む''という感覚も大切なのだと思いました。 私は失敗するのが怖くて積極的に発言したり、自分の案を推し進めたりするのが得意ではありません。しかし、事業を引っ張っていく立場でそれではダメだと思います。大学から小さなグループを引っ張る経験を何回も積み重ねて克服していきたいと思いました。

関さんの上司に相談してルールを変えてみたという意見について、だいたいの人は「これから実践していきたい」という意見だったが、中には「たまたま認められただけで、普通は認められないと思う。あまりに無責任だ。」との意見もあり、人によってとらえ方は様々なのだなと思いました。私はのろのろしてチャンスをのがしがちなので、関さんみたいに素早く行動して大きなチャンスをつかみたいです。